

標語「環境」入選作決まる 青少年育成協議会

ごみ拾い 拾った数だけ 幸せが
さくら小6年 貝森瑞希さん

再利用するかしないか 君したい
阿東中2年 金澤美希さん

篠生青少年健全育成協議会(会長:梅田妙子さん)では、10月15日(月)に環境をテーマにした標語の審査会を行い、48点の応募の中から、小学校9点、中学校2点の入選作品を選出しました。作品は今後環境美化を呼びかける運動に活用されます。

21日(日)の篠生体育祭で、入選者に賞状と賞品が渡され作品が紹介されました。(写真右)
見出し以外の入選作品を下に掲載します。(敬称略)



篠生地区敬老会

9月27日(木)に篠生地区敬老会が自然休センターで盛大に行われました。83名の参加者は、式典の後、篠生保育園のお遊戯やさくら小学校1、2年生のダンス、一般の舞踊などを楽しみ、最後に「赤とんぼ」「ふるさと」を全員で合唱しました。

今年から社会福祉協議会阿東支部に加え篠生地域づくり協議会も主催者になり、会場準備や当日の司会などを担当しました。阿東地区ではこの日の篠生を皮切りに10月下旬まで各地区で行われました。

平成24年度 篠生堺区敬老会



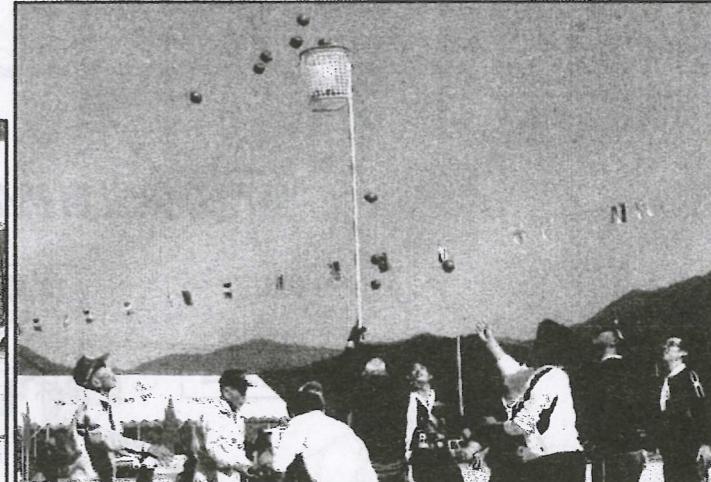
さくら小1、2年生のダンスに見入る皆さん



開敷の大畠ヒサヨさん(写真手前右)
「お遊戯は保育園も小学校もとても上手でした。でもどこの子どもさんか分かりませんね。」

細野ブロック優勝

青空に映える万国旗…好天に恵まれた10月21日(日)の篠生体育祭には多くの参加者があり、50個の玉を制限時間内に入れるという新ルールの玉入れなどを楽しみました。激しい?競技の結果、1位細野ブロック、2位中央ブロックという結果になりました。



さくら小4年生

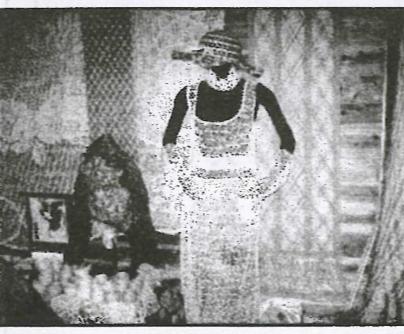
ヒノキの枝打ち体験

さくら小学校の4年生約20人が10月3日(水)、徳佐の人工林でヒノキの枝打ちをしました。林業への関心を高めるために毎年行われています。山口阿東森林組合の人から説明を聞いた後、5つのグループに分かれて枝を落としてきました。



石州和紙の工房を見学

レース編みやマクラメ編みの作品の素晴らしさに驚きの声…こぶし学級では10月9日(火)、島根県浜田市三隅町の石州和紙「工房かわひら」を訪問し、作品が仕上げられていく様子を見学しました。昭和44年に国の重要無形文化財の指定を受けた「石州半紙」を使って作られた作品には衣類まであり、しかも洗濯もできるそうです。原料の楮(こうぞ)の栽培から紙漉(かみすき)、そして制作に至るまでの苦労話などをお聞きしました。



た。ドコがにへ
レンあはは写
スなりいろ真
スもにましんた
ありてきが作
ましま



森林組合で製材工場の見学もしました。